

令和5年度第2回青森市社会教育委員会議定例会議 会議概要

- 1 日時： 令和5年11月27日（月）13時30分～15時10分
- 2 会場： 青森市教育研修センター 5階 大会議室
- 3 出席者： 棟方 梢議長、青木 敦子委員、石澤 千鶴子委員、伊藤 尚三委員、大鷹 依子委員、小笠原 秀樹委員、滝口 小百合委員、長尾 信委員、平山 健一委員、米田 学委員

事務局：	教育部長	：	小野 正貴
	教育次長	：	武井 秀雄
	文化学習活動推進課長	：	東條 英哲
	文化遺産課長	：	鈴木 謙一郎
	中央市民センター館長	：	奥崎 和彦
	市民図書館長	：	村上 泰子
	指導課長	：	後藤 孝範
	浪岡教育課長	：	福原 崇

4 次第

(1) 開会

(2) 議題等

- ①令和5年度社会教育関係事業（教育委員会所管）の検証及び今後の取組方針（案）
- ②令和6年度社会教育関係団体に対する補助金の交付（意見聴取）

(3) その他

各委員からの社会教育に関する意見・要望等について

(4) 閉会

5 主な質疑応答、意見等

- ①令和5年度社会教育関係事業（教育委員会所管）の検証及び今後の取組方針（案）について

<はたちのつどい開催事業>

・はたちのつどいが一斉開催となることで中学校の枠を越えて、高校の同窓生とも出会う機会が出来たことはとても喜ばしいことだと思う。そこで現在、一斉開催に向けて準備を進めているかと思うが、実行委員会のメンバーの規模やどれくらいの年代で構成されているか教えていただきたい。

⇒青森地区が8名、浪岡地区も同じく8名で青森地区は全員20歳のかた、浪岡地区は20歳、21歳のかたによって構成されている。

<コミュニティ・スクール推進体制事業>

・少しずつ、中学校区を拡大しておりますが、今後市内の中学校区全てがコミュニティ・スクールになる目途、計画があれば伺いたい。

⇒今現在、2年で4中学校区ずつ増やしており、現在コミュニティ・スクールが設置されているのが12中学校区となっている。この予定通りで進めていくと、今年度は4中学校区拡大しましたので再来年以降、残りの7中学校区にも及ぶようになればという目標で進めている。

＜生涯学習支援事業（中央市民センター）＞

・大変興味深い講座が広報あおもりを拝見しているとたくさん目にする。そこで、講座を企画する際に、気を付けていることなどがあればお伺いしたい。

⇒実施にあたっては、当該年度の講座を受講されている皆様にアンケートの回答をお願いしており、その内容を踏まえて、希望の多い内容のものを選択するなど、あるいは完全に趣味嗜好に走るだけでなく、地域に関しての問題や課題、社会問題などそれぞれの分野で一定の講座の数も確保しつつ、希望になるべく沿いつつ、配慮して開催している。また、子どもたちや若い方の参加できるようなものについては、どうしても市民センターの利用者層が高齢者に偏っているということもあるが、内容のみならず、子どもたちや若い方が参加しやすい曜日や時間帯に設定し、講座の開催に取り組んでいる。

＜教育メディア利用促進事業＞

・プロジェクター等でも映画などの映像であれば高画質で映すことが可能だと思うが、続けている理由があればお伺いしたい。

⇒数あるメディアの中でなぜあえて16ミリなのか、それはやはり16ミリならではの映像、内容というところにあり、ビデオの画面でDVDやビデオなどを観ることに比べると映像、内容に集中してみることができる。また、集中できる環境は子どもたちにとって大事な機会であると考えている。そして、市で保有する財産として16ミリという媒体を教育の観点から継続している。

＜国際交流事業について＞

・教育委員会が行う事業の中でアメリカ・メイン州との交流、中国・大連市との交流、グローバル人材育成事業と3つの国際交流事業の柱があると思うが、今ストップしている事業と現在動いている事業をまとめて一つの大きな事業としてはどうか。

⇒国際交流事業についてはそれぞれ交流に至った経緯や歴史があって、行っている事業であり、現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となっている事業についてはどのように行っていくか今回いただいたご意見も参考に進めていく。

・国際交流事業については県内でも小さい市町村など含めて、今年度再開しているところもあり、コロナウイルスや国際情勢であるなど難しい状況ではあると思うが、可能であれば、再開できるように動いていただければと思っている。

＜小・中学校安全・安心対策事業＞

・最近耳に入った話を受けて、LINEなどのSNSはやはり怖いので講座を増やすなどしていただければと思っている。また、LINEを使った会話などはSNSの書き込みなどと違い、監視できるものではないので親子でLINEはオープンにする、講座を頻繁に開催するなどそういった対策を講じてほしい。

・最近「お下がりスマホ」ということで親からそのままフィルタリングされていないスマホが子どもにわたることから制限がされていない状況で利用されているスマホが多いというニュースを目にし、そういった子どもや親御さんに対する教室や講座も今後必要なのではないかと感じた。

②令和6年度社会教育関係団体に対する補助金の交付（意見聴取）

意見無し

<その他>

・先日、某地区で避難所運営訓練が行われ見学した際、とても素晴らしい取り組みであると感じ、地域の人にもその取り組みをぜひ見てもらいたいと感じた。そこで、この避難所運営訓練が来年、再来年どのように広がっていくのか計画等あればお伺いしたい。

⇒避難所運営訓練については市内19の中学校区全てに実施していただこうとしているところである。計画として、今年度は3校区、来年度は4校区で実施されることとしており、再来年度まで続けると青森市内19校区全てで行われる。青森市では避難所運営訓練を中学生、小学生、そして地域も一緒になって実施していくことを目標としており、最終的には終了したところは引き続き、その校区の実態に応じて、実施していくということで学校の方とも連携し進めて参りたい。

・放課後子ども教室が閉室してしまったが、子どもたちのために活動する身として子どものための居場所作りにしっかり取り組んでほしい。予算などの関係もあると思うが、ぜひ検討してほしい。